

事務事業名	人形劇公演開催事業			会計	一般会計				
H27担当課等名	文化会館	H27係等名	人形劇のまちづくり係	事業種別	政策	開始	21 終了		
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり	H26係等名	人形劇のまちづくり係				
	施策	27	文化芸術の振興						
目的	対象(誰・何を)	①飯田市民、②地元人形劇団、③負担金支出先:いいだ人形劇センター/人形劇巡回公演実行委員会			指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	①年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画・運営を行うようになる。②人形劇を上演できるようになる。			対象指標	①飯田市の人口(人)	102446		
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術に親しむ市民の割合(%・増やす)				②地元人形劇団数	63		
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	①フェスタ以外で人形劇を観劇したり体験したりした市民の割合(%) (観劇者数6164人+地元人形劇団員数752人/人口)			6	14.8	7	10	
	成果指標	②人形劇公演事業で上演した市民劇団数			47	63	50	50	
定性目標									
事業概要	人形劇フェスタ以外の時期にも、市民に人形劇の鑑賞機会を提供する事業。								
	1 いいだ人形劇センター委託事業 NPO法人いいだ人形劇センターに委託し、年間を通じて人形劇鑑賞事業やアウトリーチプログラムを実施する。 (1)鑑賞事業・・・人形劇場・川本人形美術館・竹田人形館等を活用し、質の高い人形劇・人形アニメーションの鑑賞機会を提供する (2)定期公演・・・学校人形劇団の上演の場を設定する。地元劇団の定期的な公演開催を目指す。創造事業との連携で「創る→上演する」サイクルの確立を目指す。 (3)その他の公演・・・人形劇の出張公演(アウトリーチプログラム)や、地元劇団・団体等が主体的に行う人形劇公演への支援など 2 人形劇巡回公演 人形劇巡回公演実行委員会に負担金を支出し、市内の幼稚園・保育園・小学校へ専門劇団を派遣し公演を行う。								
事業内容				名称			活動指標		
26年度事業内容	H26年度は地域間の交流に焦点を当て、国内の様々な地域の特徴的な人形芝居を紹介する交流公演を企画した。			1 いいだ人形劇センター公演事業			1		
	1 いいだ人形劇センター公演事業 (1)鑑賞事業・・・クリスマス公演等毎年恒例の企画的な人形劇公演、国内外の優れた人形劇を紹介する公演、人形アニメーションの上映会等。人形劇場、竹田人形館、川本美術館等を活用し、多彩な人形劇公演を実施した。 (2)人形劇定期公演・・・地元劇団の定期的な公演(竹の子会等) (3)その他の公演・・・りんご並木イベントや地域の行事、桜観光等に劇団を派遣して行うアウトリーチプログラム、りんごっこ劇場等他団体が主体的に行う公演への支援 2 人形劇巡回公演/専門劇団を幼・保、小学校に派遣し人形劇公演を行った。			(1)鑑賞事業 ア 実施回数 イ 観劇人数 (2)定期公演 ア 実施回数 イ 参加人数 (3)その他の公演 ア 実施回数 イ 観劇人数 2 人形劇巡回公演 ア 実施回数 イ 観劇人数			(1) ア 38回/イ 1,353人 (2) ア 6回/イ 756人 (3) ア 13回/イ 1,735人 2 ア 24回/イ 2,320人		
事業コスト	25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①	4,375	5,274	5,167	3,879	(国)地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金				
国庫支出金	2,225	3,296	3,189	2,000					
県支出金									
起債									
その他									
一般財源	2,150	1,978	1,978	1,879					
人件費計(千円)②	465		465						
正規職員所要時間	100		100						
臨時職員所要時間	100		100						
総事業費①+②	4,840	5,274	5,632	3,879					
事業内容・目標達成状況の振り返り	昨年に引き続き、せかいの劇場を実施。(いいだ人形劇センター事業)飯田において、世界の一流の人形劇を観劇する機会を設け、大勢の市民に人形劇に親しんでもらうことができた。ワークショップから生まれたに市民で創る人形劇「人魚姫」を上演。4回の上演が全て満席となり、好評を博した。								
改革改善の考え方	①問題点	人形劇場での人形劇公演が少ない 人形劇フェスタ以外の時期に人形劇を見るのは限られた人たちである							
	②改革提案	創造支援事業と連携し、地元劇団の創造活動を活性化しながら、定期的に発表の機会を創ることで、人形劇場を積極的に活用する。また、人形劇センターによる情報発信やアウトリーチ活動、トークイベント等を活用して人形劇への興味を高める。							